

原子力科学館 GW イベント 実施報告

2026. 05. 10 理科教育支援小委員会
委員長 町村英紀

1. 実施日：2026年5月4日（月）10:00～15:30

講師：計9名参加

2. 場所：原子力科学館（東海村）

3. 実施テーマ：「5月の風をキャッチ！オリジナル風見鶏を作ろう」… 小委員会初の空力テーマ

4. 参加者：未就学児童（4歳）～小学生 58名、および保護者

5. 実施内容：原子力科学館 GW イベントの1つとして出展。（45分/回、準備15分/回）を4回実施。

（1）飛行機はなぜ飛ぶか、風見鶏はなぜ風上を向くのか解説（15分）

スピーカー：各回1名（計4名）で担当

（2）オリジナル風見鶏製作（25分）：A4画用紙に風見鶏を描き、ラミネートをした後切り取り、竹串を固定。ストローを中央に固定したペットボトルに竹串を挿して完成。

（3）実験（5分）：完成した風見鶏を扇風機の風にあて、風上を向くか確認。結果、全員の風見鶏が風上を向くことを確認できた。予備時間を使い、簡単な紙製の浮遊体を飛ばして楽しんだ。

6. イベントの様子



7. 実施結果

- ・子供たちが絵を描くのと着色に夢中になり、時間内（45分）に収めるのに思いのほか苦勞した。（自由に着色することで子供たちの独創性を引き出そうと試みたが、進捗に時間差が生じてしまった）
- ・回転軸となる竹串の位置を、あらかじめ決めて工作したので、作り直しはほとんど生じなかった。
- ・総じて参加者もスタッフも、GWの1日を楽しむことができた様子。次につながるイベントとなった。